

北部機械金属業界の景況動向

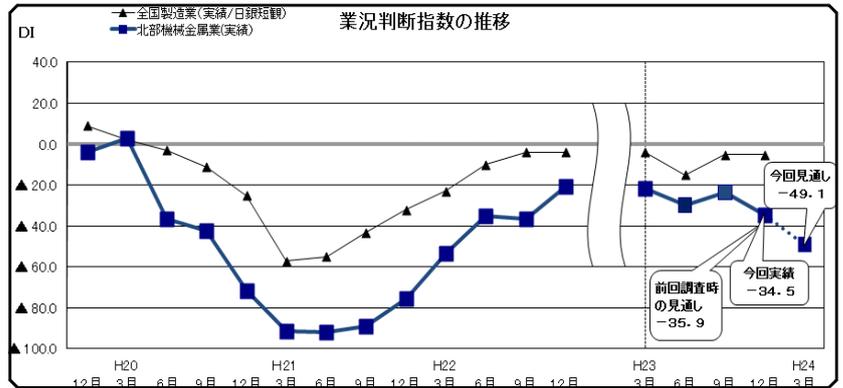
(2011年10~12月実績/2012年1~3月見通し)

- 調査対象：福知山市以北5市2町の機械金属関係企業285社 【調査時点 平成23年12月下旬】
- 回答数：113社（回答率39.6%、内訳は以下のとおり。）
 - ①市町別 = 福知山市:15、舞鶴市:19、綾部市:17、宮津市・与謝郡:13、京丹後市:49
 - ②取扱別 = 一般機械:46、電気機械:13、輸送機械:22、精密機械:20、その他:12
 - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 - 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1~9人:43、10~19人:19、21~49人:30、50~99人:14、100人以上:7
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

— 調査結果 —

1 景況動向判断

● 10~12月実績のDI(業況判断指数)は-34.5となり、前回調査(7~9月分。以下「前回」という。)より11.1ポイント悪化した(前回-23.4)。地域別では、福知山市域は-26.7(前回-33.3)と6.6ポイント改善したが、舞鶴市域は-31.6(前回-22.3)と9.3ポイント、綾部市域は-52.9(前回-11.8)と41.1ポイント、宮津市・与謝郡域は-61.5(前回-40.0)と21.5ポイント、京丹後市域は-24.5(前回-20.1)と4.4ポイント悪化した。このように、DIはすべての地域でマイナスの状態が続いている。北部地域全体の景況感、タイの洪水や円高の影響等が要因と見られる、落ち込んだ状況が続いているようである。



注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

● 1~3月見通しのDIは-49.1と、前回より13.2ポイント悪化した(前回-35.9)。すべての地域で前回に続き「非常に良い」とする企業がなく、「悪い」、「非常に悪い」とする企業は5割を超えている。今後の見通しは、円高の影響や節電要請の懸念等により、今回実績より14.6ポイント悪化を見込むなど、依然として厳しい見通しになっている。

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	DI
全体	10.6	42.5	39.8	6.2	0.9	-34.5
福知山市	13.3	46.7	20.0	20.0	0.0	-26.7
舞鶴市	10.5	47.4	42.1	0.0	0.0	-31.6
綾部市	11.8	23.5	52.9	11.8	0.0	-52.9
宮津・与謝	0.0	38.5	46.1	15.4	0.0	-61.5
京丹後市	2.0	12.3	46.9	38.8	0.0	-24.5

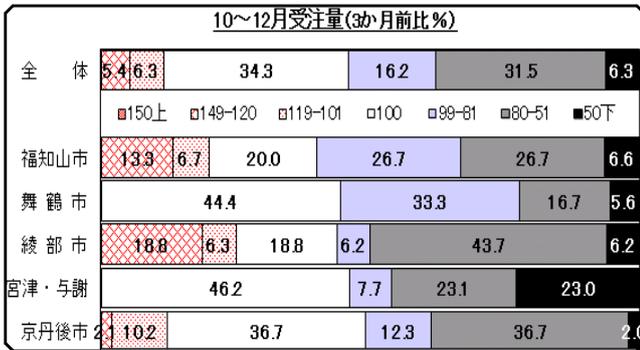
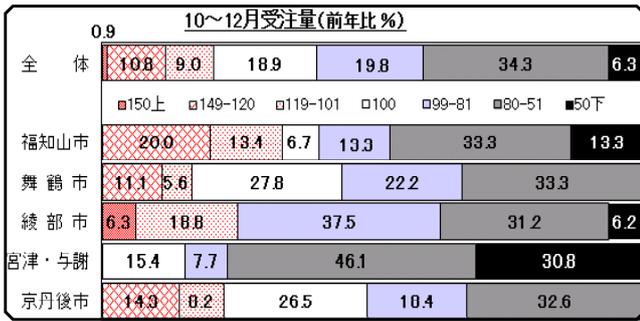
地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	DI
全体	10.0	30.9	52.7	6.4	0.0	-49.1
福知山市	6.7	33.3	46.7	13.3	0.0	-26.7
舞鶴市	10.5	31.6	52.6	5.3	0.0	-31.6
綾部市	11.8	17.6	58.8	11.8	0.0	-52.9
宮津・与謝	0.0	41.6	41.7	16.7	0.0	-61.5
京丹後市	12.8	31.9	55.3	0.0	0.0	-24.5

2 採算状況

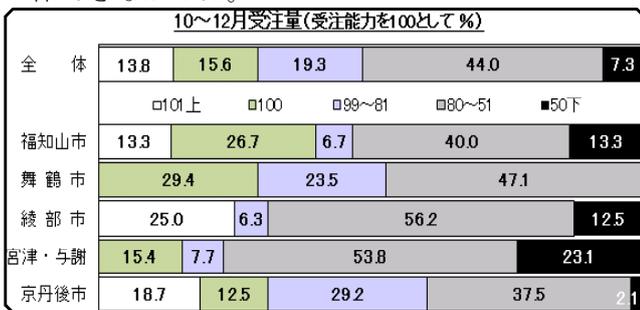
● 10~12月の採算状況は、黒字とする企業が20.5%(前回16.0%)、赤字とする企業が32.2%(前回27.7%)と、前々回から3期連続で赤字企業が黒字企業を上回り、厳しい状況となっている。地域別では、黒字とする企業が、福知山市域では3割以上であるのに対し、宮津市・与謝郡域では1割を切るなど、地域によって大きなばらつきがある。また、宮津市・与謝郡域では、赤字とする企業が5割以上と最も高い。

地域	黒字	トントン	赤字
全体	20.5	47.3	32.2
福知山市	33.3	26.7	40.0
舞鶴市	10.5	57.9	31.6
綾部市	17.6	35.3	47.1
宮津・与謝	7.7	38.5	53.8
京丹後市	25.0	56.3	18.7

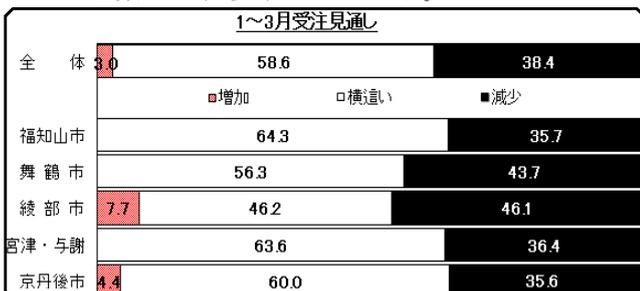
3 受注量



●10~12月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業は39.6%（前回47.9%）と減少した。地域別では、すべての地域で半数以上の企業が対前年同期比100%以上を確保できず、特に宮津市・与謝郡域では確保できた企業は2割に満たない。また、対3ヶ月前比100%以上を確保した企業は46.0%（前回54.6%）と減少した。地域による差異はあまり見られなかったが、宮津市・与謝郡域では、2割以上の企業が対3ヶ月前比50%以下しか確保できなかった。

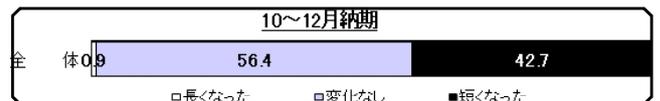


●10~12月受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業は29.4%（前回26.7%）とやや増加した。地域別では、福知山市域では4割の企業が100%以上としている一方、宮津市・与謝郡域では2割以上の企業が50%以下としている。



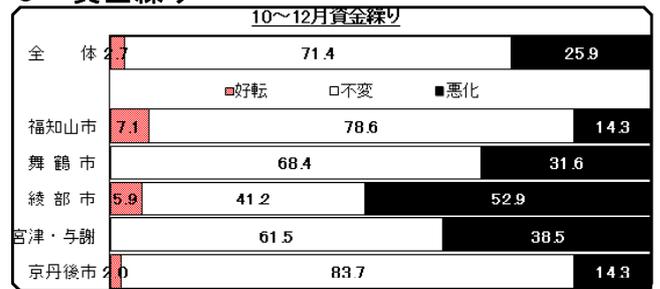
●1~3月受注見通し（左下図）は、増加を見込む企業の割合が3.0%（前回7.3%）と4.3ポイント悪化し、減少を見込む企業の割合も38.4%（前回34.9%）と3.5ポイント悪化した。増加を見込む企業は全ての地域で1割未満であり、特に福知山市域、舞鶴市域及び宮津市・与謝郡域では皆無となっている。減少を見込む企業も全ての地域で3割以上となっている。

4 受注条件（受注単価／納期）



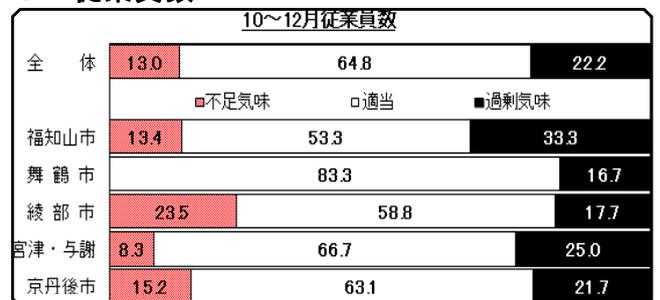
●受注単価が下がったとする企業は23.8%（前回26.1%）、納期が短くなったとする企業は42.7%（前回39.0%）となった。前回調査に引き続き、厳しい状態が続いている。

5 資金繰り



●資金繰りは、好転とした企業が2.7%（前回4.2%）、悪化とした企業が25.9%（前回21.8%）と、やや悪化している。地域別では、舞鶴市域及び宮津市・与謝郡域では好転とした企業は皆無であるが、悪化とした企業の割合は綾部市で最も高く、半数を超えている。

6 従業員数



●従業員数は、不足気味が13.0%（前回16.8%）、過剰気味も22.2%（前回18.6%）と悪化している。地域別では、福知山市域では3割以上の企業が過剰気味としており、舞鶴市域では不足気味とした企業がなかった。